

第31回蒲郡市地域公共交通会議 議事録

1	日時	令和3年3月23日(火)	午後2時30分～3時30分	
2	場所	蒲郡市役所 本館	303会議室	
3	出席者	委員	愛知工科大学機械システム工学科教授	村上新
		委員	名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授	松本幸正
		委員	愛知運輸支局	上井久仁彦
				(代理 杉浦亜由子)
		委員	愛知県都市整備局交通対策課	澤木徹(欠席)
		委員	総代連合会会長	細井政雄
		委員	形原地区公共交通協議会	天野忠則
		委員	東部地区公共交通協議会	小田密義
		委員	西部地区公共交通協議会	永島浅昭
		委員	三谷地区公共交通協議会	小田邦裕
		委員	大塚地区公共交通協議会	浅沼明喜
		委員	蒲郡市身体障害者福祉協会	金沢孝一(欠席)
		委員	蒲郡市老人クラブ連合会	水藤シズカ
		委員	蒲郡市社会福祉協議会	鵜飼秀好
		委員	蒲郡市小中学校PTA連絡協議会	山口健太郎
				(代理 岡田佳吾)
		委員	蒲郡商工会議所	小池高弘
				(代理 井澤康彦)
		委員	蒲郡市観光協会	杉山和弘
		委員	名鉄バス株式会社	吉岡実
		委員	豊鉄タクシー株式会社	若林亨修(欠席)
		委員	株式会社かね自動車	天野一美
				(代理 天野成美)
		委員	名古屋鉄道株式会社	中嶋久
		委員	公益社団法人愛知県バス協会	小林裕之(欠席)
		委員	愛知県タクシー協会	深谷克巳
		委員	愛知県交通運輸産業労働組合協議会	壁谷政志
		委員	愛知県蒲郡警察署	田中祥浩
		委員	東三河建設事務所	渡會竜二(欠席)
		委員	蒲郡市長	鈴木寿明
		委員	蒲郡市総務部長	平野敦義
		委員	蒲郡市企画部長	飯島伸幸(欠席)
		委員	蒲郡市市民福祉部長	岡田隆志
		委員	蒲郡市建設部長	鈴木伸尚

委員	蒲郡市産業環境部長	賛年宏
委員	蒲郡市都市開発部長	宮瀬光博
事務局	蒲郡市交通防犯課長	池田高啓
	蒲郡市交通防犯課係長	齋藤裕記
	蒲郡市交通防犯課主事	石川雄策
	蒲郡市交通防犯課主事	井本博子
	地域公共交通網形成計画推進事業受託事業者	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 1名

4 傍聴人 2人

5 議題

(1) あいさつ

6 報告事項

- (1) 三谷地区支線バス「おおしまくるりんバス」利用状況等について・・・【資料1】
- (2) 蒲郡市内公共交通の利用状況等について・・・【資料2-1~2-7】
- (3) 大塚地区支線バス「ひめはるくるりんバス」の運行開始について・・・【資料3】
- (4) 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について・・・【資料4】

7 協議事項

- (1) 令和3年度蒲郡市地域公共交通会議事業計画、予算（案）について
・・・【資料5-1、5-2】
- (2) 蒲郡市地域公共交通計画のパブリックコメント実施について
・・・【資料6-1、6-2】

8 その他

9 議事内容

(1) 開会

- ・ 出席委員が26名であり、定足数に達しているため、蒲郡市地域公共交通会議設置要綱第7条第2項の規定により会議が成立すること、本日の会議が公開となっており傍聴人がいること及び地域公共交通網計画推進事業受託事業者として三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に参加していただいていることが事務局より報告された。

(2) 議題

ア あいさつ

蒲郡市長より、本日は報告事項2件、協議事項2件を予定している。平成27年から形原地区であじさいくるりんバスが運行を開始し、令和元年10月から東部地区でとがみくるりんバスが、令和2年1月からは西部地区でみかんの丘くるりんバスが、また今年1月から三谷地区おおしまくるりんバスの運行が開始されている。さらに、4月から大塚地区でひめはるくるりんバスの運行を予定している。新型コロナウイルスの影響がある、その状況については担当より報告する。引き続き地域の方、事業者などと連携をして事業推進をしていきたい。本日は、それぞれのお立場からご意見を

いただき、よりよいものにしていきたい。どうぞよろしくお願い致しますとのあいさつがあった。

(3) 協議事項

- ・ 議長より本日の議事録署名人として2名の委員が指名された。

ア 三谷地区支線バス「おおしまくるりんバス」利用状況等について

- ・ 事務局より資料1に基づいて報告が行われた。

〔質 疑〕

なし

イ 蒲郡市内公共交通の利用状況等について

- ・ 事務局より資料2に基づいて報告が行われた。

〔質 疑〕

(委 員)

- ・ 厳しい状況について了解した。蒲郡に限らずほかの自治体も同様である。その中で求められるのは安全対策である。名鉄バスは事業者が安全対策をしていると思うが、コミュニティバスの安全対策とその周知についてお伺いしたい。

(事務局)

- ・ コミュニティバスについては、車内の消毒、運転手のマスク着用、朝夕の体調確認を行っている。また、車内の抗菌加工・抗ウイルス対策を行っている。周知は、コロナ対策の車内ステッカーを掲示するとともに、ホームページで情報発信し、安全利用を促している。

(委 員)

- ・ コミュニティバスの主な利用者は高齢者であるため、ホームページだけでなく、チラシなどによる広報もお願いしたい。
- ・ コロナを過度に恐れて出控えることで心身に影響を及ぼし、心身衰弱につながる恐れがあることが問題。正しく恐れて、安全対策をして、外出を促すことに切り替えてよい時期である。実際、公共交通でクラスターの発生はなく、車内での感染事例はないと聞いている。

(事務局)

- ・ ご意見をふまえ、広報、チラシ等による周知検討の参考とさせていただく。

ウ 大塚地区支線バス「ひめはるくるりんバス」の運行開始について

- ・ 事務局より資料3に基づいて報告が行われた。

〔質 疑〕

なし

エ 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

- ・ 事務局より資料4に基づいて報告が行われた。

(委員)

- ・ 蒲郡市は成績良好である。今後も新しい支線バスの確実な事業化、運行を期待する。また、今年度の調査結果をふまえ、持続可能な地域公共交通サービス実現をするための計画策定を期待する。

(委員)

- ・ 国の二次評価とは直接の関係はないが、今年度の日本モビリティ会議（JCOMM）の学会で、蒲郡市の地域バスが立ち上がった取組事例を報告してきた。コミュニティバスが地域主導で順番に広がっている事例は、全国的にも珍しく、他の地域から問い合わせがあるなど、日本全国から着目されている事例として紹介しておきたい。

(4) 協議事項

ア 令和3年度蒲郡市地域公共交通会議事業計画、予算（案）について

- ・ 事務局より資料6-1、6-2に基づく説明が行われ、全会一致で承認された。

[質疑]

なし

イ 蒲郡市地域公共交通計画のパブリックコメント実施について

- ・ 事務局より資料5-1、5-2に基づく説明が行われ、全会一致で承認された。

[質疑]

(委員)

- ・ 5月7日までパブリックコメントを実施した後、その意見を反映した計画を6月の交通会議で審議し、7月に公表するという予定ということか。

(事務局)

- ・ 指摘の通り、6月の交通会議で承認いただき、あわせて議会にも報告したうえで、公表を予定している。

(委員)

- ・ 計画の人口動向について、36頁の人口構造の記載と15頁の課題認識部分の潜在需要（人口見通し）部分について、老年人口の動向に係る表現が異なっているため、考え方、表現を統一すべき。

(事務局)

- ・ 内容を再確認した上で、どちらかに表現を統一させていただく。

(委員)

- ・ 活性化再生法の改正により、交通計画策定にあたっては、目標管理の点から収支率について記載するよう指導がある。本計画において、収支率の指標設定をしないことについては理解するが、交通会議では、収支率について把握してほしい。法律改正の要綱はまだ不明確だが、今後は、交通計画を毎年評価していくことになるという、細かな点は追って連絡をする。

(事務局)

- ・ 収支率について、追跡調査しており、引き続き注視していく。

- ・ 蒲郡市オリジナルの収支率向上の取組として、地域が主体的に広告を集めることで、収入を増やし、事業の収支改善に努めている。

(委員)

- ・ 蒲郡市の支線バスについては、指針で収支率 10%の目標設定を行っており、透明性を持った評価がされている。透明性という点では、支線バスの評価と別に、名鉄西尾・蒲郡線の収支報告もしていただけるとよい。
- ・ 収支率を指標設定すると、その達成が目的になってしまい、費用削減のため減便するなどの対応となる恐れがある。それよりも健康維持や利用者間の交流などの社会的な便益を認識し、共有することが大切と考える。その点で、個人的には、収支率は計画に指標として設定すべきでないと考える。
- ・ 計画について、ホームページやネットを使った情報発信にぜひ取り組んでほしい。

(事務局)

- ・ コミュニティバスが5路線を運行することになるが、沿線人口や地域事情も異なり、利用者数や収支率の評価は一律では測れないと考えている。コロナの影響による出控えで利用者数は顕著に減少したが、その中でも確実に利用されていることを確認しており、社会的効果があると感じている。
- ・ ネットを使った情報発信については、今回、交通計画のほかにも総合計画や多くの個別計画の策定が同時期にあるため、それらと合わせて住民に訴求できるよう、他と連携をとり対応する。

(委員)

- ・ パブリックコメントの周知について、利用者への周知として、バス停などでの提示も検討してはどうか。

(事務局)

- ・ 地元の公民館と相談しながら対応を考えたい。

(5) その他

(事務局)

- ・ 公共交通マップを作成した。全戸配布、ナビテラス等での配布をする。
- ・ 停留所新設に伴い東部地区支線バス時刻表を改訂した。
- ・ 映画「ゾッキ」公開に伴い、名鉄蒲郡線の車両に看板を付けて運行している。

(委員)

- ・ 形原地区では、温浴施設の開業で利用者が戻ってきた。
- ・ かんだ整形外科の手前に内科が開業する。停留所の設置も検討したい。
- ・ 運行日数について、引き続き金曜日の増便を要望していきたい。

(事務局)

- ・ 次回の地域公共交通会議は6月の開催予定との連絡を行い会議は終了した。

以上、議事の正確を証するため署名押印する。

蒲郡市地域公共交通会議委員

印

蒲郡市地域公共交通会議委員

印
